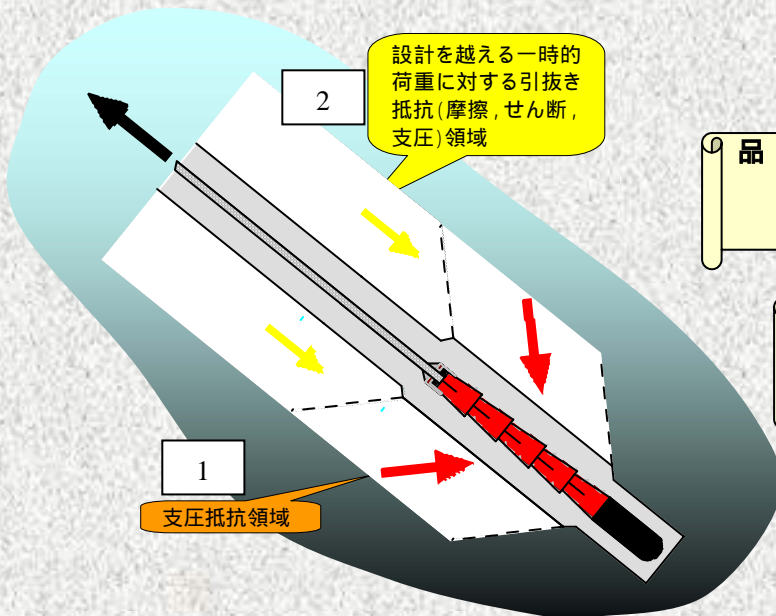
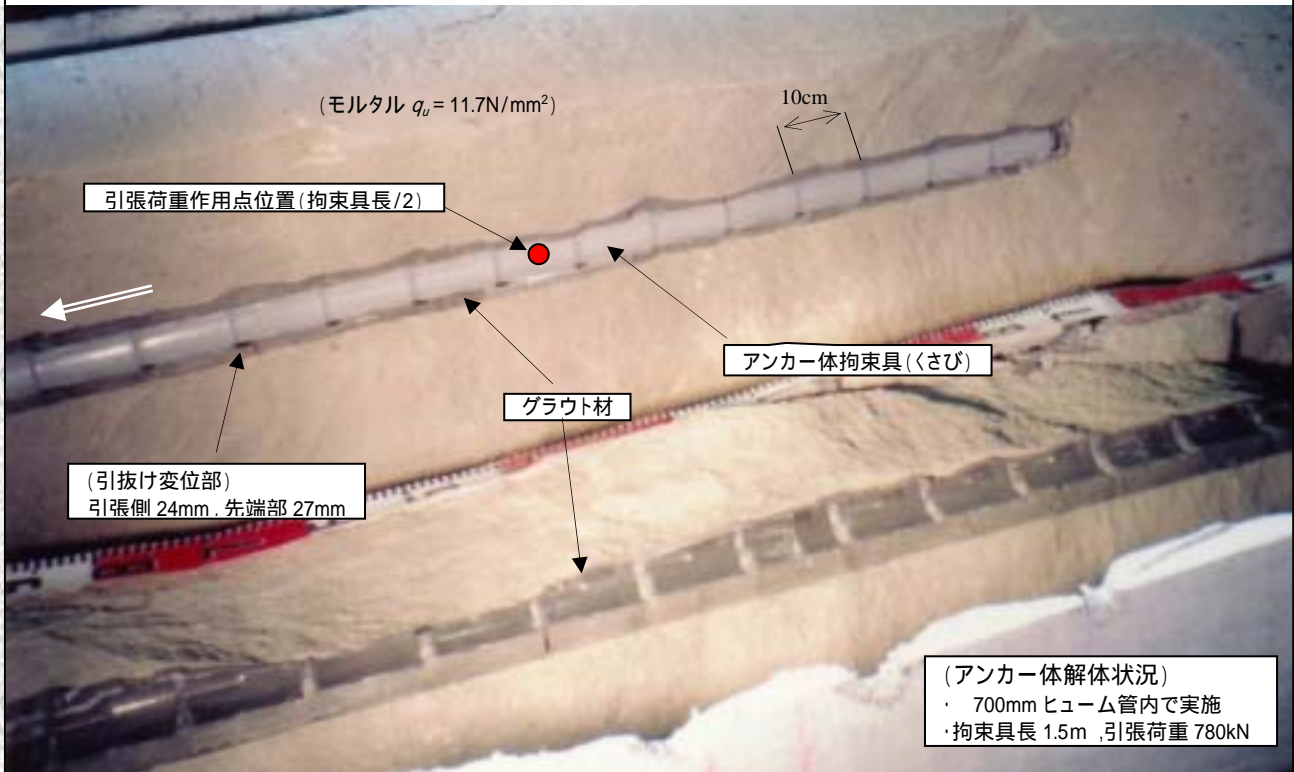


くさび型アンカー工法

【荷重分散式支圧型アンカー】 NETIS 登録番号:CG-050001



品質: 定着地盤の支圧強度を平均的に利用(荷重分散)できるため, 安定した大きな支持力を得られやすい.

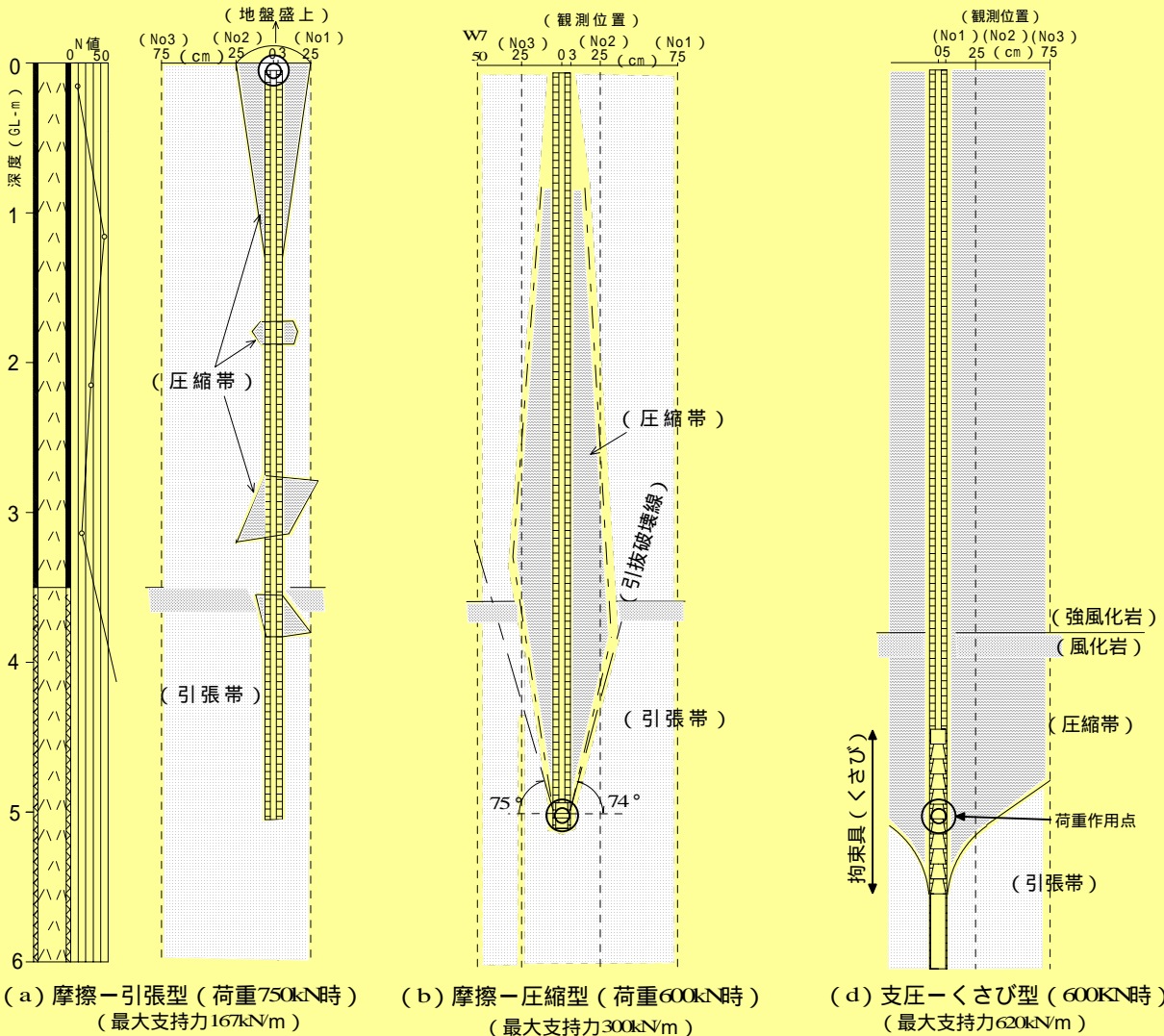
耐久性: 拘束度の高いアンカー体側方地盤を利用するため, 長期的耐力確保に有利である.

経済性: 定着長が短く, 孔径も小さくできることから, 工事費を削減しやすい.

安全性: アンカー体拘束具が引抜ける場合はくさび単位毎であり, この間, 周辺地盤の弾性機能により引抜き耐力が持続されるため, 急激に引抜ける危険性は低い.

アンカー体の応力状態実測図

(実験場所：島根県松江市本庄地内，定着地盤：風化凝灰岩層 ($qu = 2.14\text{N/mm}^2$))



摩擦(引張)型

アンカー体沿いに不規則な形で圧縮帯 (= 摩擦抵抗領域) を形成

摩擦(圧縮)型

アンカー体沿いに50cm程度の紡錘状の圧縮帯を形成

支圧(くさび)型

アンカー体沿いに幅広く圧縮帯を形成

(参考文献)

- 浜野浩幹・瀬崎茂：くさび型アンカー工法，理工図書，2006.5.
- 浜野浩幹・瀬崎茂：くさび型アンカー工法 設計・施工マニュアル，2005.11.
- 瀬崎茂・浜野浩幹・平島健一：新しい支圧型アンカーの提案とその支持機構，論文報告集，2005.10.
- 瀬崎茂・浜野浩幹他：アンカー形式による支持機構と支持力の違い 地すべり学会講演集，2005.8.
- 瀬崎・浜野浩幹他：くさび型アンカーの特徴，全地連技術eフォーラム講演集 2004.9.

